

各学科の研究業績等（令和4年10月～令和5年9月）

人間科学科哲学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 遠藤寿一：死の多元論について 岩手医科大学教養教育研究年報, 57: 65-70. (2022)

人間科学科法学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 廣瀬清英：医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂案に見る医療法学のあり方. 岩手医科大学教養教育研究年報, 57: 93-107. (2022)

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 廣瀬清英：岩手医科大学における医事法教育の実践. ワークショップ「医学における医事法教育の現状と課題～医学部教育において医事法教育に期待されているもの～」. 日本医事法学会第52回研究大会. 2022年11月. 神戸.

[国内学会発表（全国・その他）]

- 1) 廣瀬清英：医学教育モデル・コア・カリキュラム改定案にみる医療法学あるいは医事法学のあり方. 日本医学教育学会第55回大会. 2023年7月. 長崎.

人間科学科心理学・行動科学分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) *Chiba, T., *Takaguri, A., *Kooka, A., *Kowatari, K., *Yoshizawa, M., *Fukushi, Y., *Hongo, F., *Sato, H., Fujisawa, M., *Wada, S. and *Maeda, T.: Suppression of milk-derived miR-148a caused by stress plays a role in the decrease in intestinal ZO-1 expression in infants. *Clinical Nutrition*, 41(12) : 2691-2698. (2022)

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 相澤文恵：テキストコミュニケーションによる多職種連携教育ワークショップの試み, 岩手医科大学教養教育研究年報, 57: 71-79. (2022)
- 2) 藤澤美穂, *高橋文絵, *小黒明日香, *高橋智幸：災害支援者支援における職種間連携に関する文献検討. 岩手医科大学教養教育研究年報, 57: 81-91. (2022)

[著書]

- 1) 相澤文恵：医療における社会・行動科学 2023, 永代印刷. (2023)

[国内学会発表]

- 1) 木村祐輔, 相澤文恵：多職種連携教育プログラムにおける緩和ケア教育の取り組み, 第28回大学病院の緩和ケアを考える会総会研究会. シンポジウム. 2022年9月. Web開催.

- 2) 相澤文恵, 田島克己: 多職種連携ワークショップの教育効果検討へのテキストマイニングの応用. 第55回日本医学教育学会・学術大会. 2023年7月. 長崎.
- 3) 藤澤美穂, *高橋智幸, *小黒明日香, *高橋文絵: 災害支援者支援として取り組まれる心理教育の現状に関する文献検討. 第41回日本社会精神医学会. 2023年3月. Web開催.
- 4) *久保香織, *池田航, 小川香織, *小黒明日香, *高橋文絵, *長友敦子, 藤澤美穂: p4cハウスの手法を使った学校における集団精神療法の実践. 日本集団精神療法学会第40回学術大会. 2023年3月. 名古屋.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 2021~2024年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究(C)
研究課題: 子どもの先天性難聴の遺伝学的検査の意味: 親の視点からどう捉えられているか
研究代表者: 山本佳世乃, 研究分担者: 福島明宗, 小川有美子, 浦野真理, 相澤文恵
- 2) 2020~2023年度 日本学術振興会: 科研費 若手研究
研究課題: 災害支援者支援に関わる心理職のキー・コンピテンシーの解明
研究代表者: 藤澤美穂
- 3) 相澤文恵: 日本口腔衛生学会査読委員
- 4) 相澤文恵: 日本農村医学会査読委員
- 5) 相澤文恵: 岩手医科大学歯学会評議員
- 6) 相澤文恵: 岩手公衆衛生学会理事
- 7) 相澤文恵: いわて東北メディカル・メガバンク機構臨床研究・疫学部門副部門長
- 8) 相澤文恵: いわて東北メディカル・メガバンク機構運営委員
- 9) 相澤文恵: 行動変容に関する理論, 生活習慣病予防に関する保健指導~歯の健康に関する保健指導~. 令和4年度特定健診・特定保健指導従事者研修会. 2022年10月14日. 盛岡市.
- 10) 相澤文恵: 薬剤師のための行動科学. 令和5年度禁煙教育事業第1回研修会. 2023年6月27日. 盛岡
- 11) 藤澤美穂: ケアする“私”のメンタルヘルス. 大船渡市保健福祉部 こころの出前講座 支援者向け研修会. 2022年10月6日. 大船渡.
- 12) 藤澤美穂: 認知症やこころの病を抱えた方への関わりと周りの方へのアプローチ. 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 令和4年度岩手県社会福祉協議会生活支援相談員等活動研究会. 2022年11月1日. 盛岡.
- 13) 藤澤美穂: 現代社会とこころの危機-ストレスの表れ-. 社会福祉法人盛岡いのちの電話 第34回公開講座. 2022年11月12日. 盛岡.
- 14) 藤澤美穂: 自分を守り, まわりのいのちも守るために (令和4年度). 大船渡市保健福祉部 大船渡市職員ゲートキーパー養成研修会. 2022年12月14日. 大船渡.
- 15) 藤澤美穂: 岩手における臨床心理士会活動としての災害支援と, 臨床心理士として考えていること. 宮城県臨床心理士会 研修会. 2023年2月18日. Web開催.
- 16) 藤澤美穂: 広くて狭い岩手で臨床心理士として生きること. 岩手県臨床心理士会 設立30周年記念行事 シンポジウム. 2023年3月12日. 盛岡.
- 17) 藤澤美穂: 話題提供 心理職としての自己研鑽. 岩手県公認心理師協会 第2回月例勉強交流会. 2023年6月27日. Web開催.
- 18) 藤澤美穂: 自分を守り, まわりのいのちも守るために (令和5年度). 大船渡市保健福祉部 大

- 船渡市職員ゲートキーパー養成研修会. 2023年7月19日. 大船渡.
- 19) 藤澤美穂：配慮や支援が必要な学生と共に学ぶ環境づくり. 岩手医科大学看護学部 令和5年度第1回看護学部FD/SD研修会. 2023年7月26日. 矢巾.
 - 20) 藤澤美穂：話題提供 学業不振からの進路変更学生の対応を経験して. 岩手医科大学教養教育センター 学生支援に関するFD, SD研修会. 2023年7月31日. 矢巾.
 - 21) 藤澤美穂：ケアする“私”のメンタルヘルス-支援者を守る職場環境やソーシャルサポートの視点からも考える-. 大船渡市保健福祉部 こころの出前講座 支援者向け研修会. 2023年9月11日. 大船渡.
 - 22) 藤澤美穂：専門的知見からの考察, 今後の展望 心のケアからの視点. 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 令和4年度東日本大震災被災者実態調査研究報告書：14-15. (2023)
 - 23) *橋本明宏, *安部康代, *高富栄, *長友敦子, *針生江美, *藤信子, 藤澤美穂, *山本創：災害とメンタルヘルスに関する相互支援グループ. 日本集団精神療法学会第40回学術大会 大会企画ワークショップ. 2023年3月. 名古屋.
 - 24) 藤澤美穂：現代行動科学会 理事 (2013年11月～現在)
 - 25) 藤澤美穂：日本集団精神療法学会 相互支援委員会 委員 (2014年7月～現在)
 - 26) 藤澤美穂：日本臨床心理士会 研修企画検討プロジェクトチーム 委員 (2017年7月～現在)
 - 27) 藤澤美穂：社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 東日本大震災被災者実態調査研究委員会 委員 (2020年5月～現在)
 - 28) 藤澤美穂：社会福祉法人盛岡いのちの電話 理事 (2021年6月～現在)
 - 29) 藤澤美穂：岩手県公認心理師協会 運営委員 (2023年3月～現在)
 - 30) 藤澤美穂：社会福祉法人盛岡いのちの電話 グループ研修担当 (2010年4月～2023年3月)
 - 31) 藤澤美穂：岩手県復興局 東日本大震災津波復興委員会女性参画推進専門委員会 委員 (2016年5月～2023年3月)

人間科学科体育学分野

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Takahiro Mikami, Kozo Tanno, Ryohei Sasaki, Nobuyuki Takanashi, Yuka Kotozaki, Koichi Asahi, Fumitaka Tanaka, Shinichi Omama, *Mana Kogure, *Naoki Nakaya, *Tomohiro Nakamura, *Naho Tsuchiya, *Akira Narita, *Atsushi Hozawa, Jiro Hitomi, Kiyomi Sakata, Makoto Sasaki: Association between the extent of house collapse and urine sodium-to-potassium ratio of victims affected by the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami: a cross-sectional study. *Hypertension Research*, 46 : 1247-1256. (2023)
- 2) Yuka Kotozaki, Kozo Tanno, Kotaro Otsuka, Ryohei Sasaki, Makoto Sasaki: Longitudinal changes in depressive symptoms associated with social isolation after the Great East Japan Earthquake in Iwate Prefecture: findings from the TMM CommCohort study. *BMC Public Health*, 23 : 1154. (2023)
<https://doi.org/10.1186/s12889-023-16082-z>

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) *鈴木るり子, *坪田(宇津木)恵, 佐々木亮平, 下田陽樹, *藤野善久, *伊香賀俊治, *狩野徹,

坂田清美：東日本大震災被災地域の高齢者における住居形態と住環境リスクに関する観察研究 the RIAS Study. 日本公衆衛生雑誌, 70(2)：99-111. (2023)

[学術論文（和文・その他）]

- 1) *奥田博子, *相馬幸恵, *川田敦子, 佐々木亮平, *山崎初美：避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討. 厚生労働行政推進調査事業費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究」令和4（2022）年度分担研究報告書. pp. 46-53. (2023)

[著書]

- 1) 小山薫, 佐々木亮平：健康運動科学2023. 橋本印刷. pp. 95. (2023)

[国内学会発表（全国・招聘講演等）]

- 1) 佐々木亮平, *日高橋子, *白井千香, *遠藤綾子, *森林友佳子, *岩室紳也：ウィズコロナ時代の公衆衛生活動 感染症と向き合いつつ地域活動を推進するために必要なリスクコミュニケーションとは. 第81回日本公衆衛生学会シンポジウム24 座長. 2022年10月. 甲府.
- 2) 佐々木亮平：災害前から求められる災害時における保健師の人財育成～地域包括支援活動を通じた提言～. 第28回日本災害医学会パネルディスカッション23 パネリスト. 2023年3月. 盛岡.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) *相馬幸恵, *奥田博子, 佐々木亮平, *尾島俊之：新型コロナウイルス感染症対応に係る自治体職員の過重労働・メンタルヘルス対策. 第81回日本公衆衛生学会. 2022年10月. 甲府.
- 2) 久野純治, *坪田恵, 佐々木亮平, 下田陽樹, 高梨信之, 田鎖愛理, 坂田清美, 丹野高三：東日本大震災被災地における身体活動の変化と総死亡との関連 RIAS Study. 第33回日本疫学会. 2023年2月. 浜松.

[国内学会発表（全国・その他）]

- 1) 佐々木亮平：一般社団法人日本体力医学会 第31回日本体力医学会東北地方会 大会事務局長. 2022年9月～2023年8月. 盛岡.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 2018～2022年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究(C)
研究課題：被災の回復期における虚弱の増悪・緩衝要因の解明と、地域特性に特化した予防活動
研究代表者：坪田恵 研究分担者：佐々木亮平
- 2) 2021～2024年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究(C)
研究課題：助産師と協働した児童養護施設のリプロダクティブ・ヘルスケア実施体制の構築と検証
研究代表者：福島裕子 研究分担者：佐々木亮平
- 3) 2022～2024年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究(C)
研究課題：『みえる被災』『みえない被災』：震災前後で生じた地域資源格差と中長期的健康影響
研究代表者：坪田恵 研究協力者：佐々木亮平

- 4) 2022～2024年度 厚生労働省：科研費 健康安全・危機管理対策総合研究事業
研究課題：災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究
研究代表者：尾島俊之 研究班協力者：佐々木亮平
- 5) 佐々木亮平：各地のAIDS文化フォーラムからの応援メッセージ。第12回AIDS文化フォーラム in 京都 報告者。2022年10月。京都。
- 6) 佐々木亮平：日本学術振興会 科研費 基盤研究(C) 助産師と協働した児童養護施設のリプロダクティブ・ヘルスケア実施体制の構築と検証 2022年度みちのく・みどり学園 健康学習プロジェクト 第1回勉強会 講師。2022年10月。盛岡。
- 7) 佐々木亮平：日本学術振興会 科研費 基盤研究(C) 助産師と協働した児童養護施設のリプロダクティブ・ヘルスケア実施体制の構築と検証 2022年度岩手県児童養護施設協議会 養護研究部会 アドバイザー。2022年10月。滝沢。
- 8) 佐々木亮平：保健体育（実技実習）。2022年度岩手看護専門学校本科3年生「保健体育」全5回 講師。2022年10～11月。矢巾町・盛岡。
- 9) 佐々木亮平：いわて思春期研究会調査研究委員会 2022年度第2回委員会（WEB開催）委員。2022年10月。盛岡。
- 10) 佐々木亮平：岩手公衆衛生学会 2022年度理事会 理事。2022年11月。矢巾。
- 11) 佐々木亮平：日本体力医学会東北地方会 2022年度幹事会（WEB開催）幹事。2022年11月。仙台。
- 12) *岩室紳也, 佐々木亮平：はまって かだつて つながつて 2022年度陸前高田市思春期保健事業 おやこの広場きらりんきつず 講師。2022年11月。陸前高田。
- 13) 佐々木亮平：2022年度第6回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー。2022年11月。陸前高田。
- 14) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2022年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田東中学校2年生「思春期はまかだ教室」講師。2022年11月。陸前高田。
- 15) 佐々木亮平：2022年度第2回公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会 副委員長。2022年11月。盛岡。
- 16) 佐々木亮平：2022年度岩手県自殺対策推進協議会 委員。2022年11月。盛岡。
- 17) 佐々木亮平：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業 2022年度第2回プロジェクトチーム会議 委員。2022年11月。盛岡。
- 18) 佐々木亮平：社会福祉法人大空会 2022年度第2回評議委員会 評議員。2022年11月。秋田。
- 19) 佐々木亮平：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業 2022年度第3回プロジェクトチーム会議 委員。2022年12月。盛岡。
- 20) 佐々木亮平：2022年度第7回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー。2022年12月。陸前高田。
- 21) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2022年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田第一中学校3年生「思春期はまかだ教室」講師。2022年12月。陸前高田。
- 22) 佐々木亮平：2022年度第8回陸前高田市はまかだ運動推進会議（WEB開催）アドバイザー。2023年1月。陸前高田。
- 23) 佐々木亮平：災害発生時の保健活動～東日本大震災から10年, 陸前高田市の経験に学ぶ～. 2022年度秋田大学医学部保健学科看護学専攻地域看護管理論（WEB開催）講師。2023年1月。秋田。
- 24) 佐々木亮平：2022年度陸前高田市はまかだ交流会 介護予防自主グループ活動発表会 座長。

- 2023年1月. 陸前高田.
- 25) *日高橋子, 佐々木亮平, *岩室紳也, *蓑島さやか: 2022年度陸前高田市はまかだ交流会 AIDS文化フォーラム in 陸前高田「AIDSとコロナに学ぶ感染症と人のつながり」パネリスト. 2023年1月. 陸前高田.
 - 26) 佐々木亮平: 2022年度第7回岩手県循環器病対策推進協議会 委員. 2023年1月. 盛岡.
 - 27) 佐々木亮平: いわてスーパーキッズ発掘・育成事業 2022年度第4回プロジェクトチーム会議 委員. 2023年2月. 盛岡.
 - 28) 佐々木亮平: 2022年度第9回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー. 2023年2月. 陸前高田.
 - 29) 佐々木亮平: はまって かだって つながって 2022年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立竹駒小学校5～6年生「思春期はまかだ教室 命とコミュニケーションについて」講師. 2023年2月. 陸前高田.
 - 30) 佐々木亮平: 日本学術振興会 科研費 基盤研究(C) 助産師と協働した児童養護施設のリプロダクティブ・ヘルスケア実施体制の構築と検証 2022年度みちのく・みどり学園 健康学習プロジェクト 第2回勉強会 講師. 2023年2月. 盛岡.
 - 31) 佐々木亮平, *藤野恵美, *佐藤恵, *長洞弘美: 2022年度岩手県フレイル予防対策研修会「人とつながる手段としての運動」講師. 2023年2月. 盛岡.
 - 32) 佐々木亮平: 2022年度岩手県自殺対策推進協議会(書面開催) 委員. 2023年3月. 盛岡.
 - 33) 佐々木亮平: 2022年度秋田市立上北手小学校 防災教室「災害に備えて私たちにできること」講師. 2023年3月. 秋田.
 - 34) 佐々木亮平: 2022年度特定非営利活動法人日本健康運動指導士会岩手県支部役員会議 支部長. 2023年3月. 矢巾.
 - 35) 佐々木亮平: 広がるAIDS文化フォーラム 令和4年度AIDS文化フォーラム広域連携会議 運営委員. 2023年3月. 横浜.
 - 36) 佐々木亮平: 2022年度第10回陸前高田市はまかだ運動推進会議(WEB開催) アドバイザー. 2023年3月. 陸前高田.
 - 37) 佐々木亮平: 2022年度第3回公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会 副委員長. 2023年3月. 盛岡.
 - 38) 佐々木亮平: 2022年度公益財団法人盛岡市スポーツ協会第2回評議員会 評議員. 2023年3月. 盛岡.
 - 39) 佐々木亮平: 社会福祉法人大空会 2022年度第3回評議員委員会 評議員. 2023年3月. 秋田.
 - 40) 佐々木亮平: 2022年度特定非営利活動法人福祉フォーラム・東北理事会(WEB開催) 理事. 2023年3月. 東京.
 - 41) 佐々木亮平: 2022年度第2回岩手県健康いわて21プラン推進協議会 委員. 2023年3月. 盛岡.
 - 42) 佐々木亮平: 2022年度岩手医科大学教養教育センター・研究業績発表会「東日本大震災と人のつながり」講師. 2023年3月. 矢巾.
 - 43) 佐々木亮平: 一般社団法人全国保健師教育機関協議会 健康危機管理対策委員会企画「健康危機管理の保健師活動(DVD)」資料提供. 2023年3月. 東京.
 - 44) 佐々木亮平: 災害時の看護活動～東日本大震災から10年, 陸前高田市の経験に学ぶ～. 2023年度慶應義塾大学看護医療学部地域看護学分野公衆衛生看護管理展開論 健康危機管理(WEB開催) 講師. 2023年5月. 藤沢.

- 45) 佐々木亮平：2023年度第1回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー。2023年5月。陸前高田。
- 46) 佐々木亮平：2023年度岩手県立不来方高等学校2～3年生体育学系スポーツ医・科学講座 全8回 講師・企画調整。2023年5～8月。矢巾。
- 47) 佐々木亮平：いわて思春期研究会調査研究委員会 2022年度第1回委員会(WEB開催) 委員。2023年5月。盛岡。
- 48) 佐々木亮平：2023年度岩手県自殺対策推進協議会(書面開催) 委員。2023年6月。盛岡。
- 49) 佐々木亮平：2023年度第1回岩手県健康増進計画推進協議会(書面開催) 委員。2023年6月。盛岡。
- 50) 佐々木亮平：2023年度特定非営利活動法人福祉フォーラム・東北理事会(書面開催) 理事。2023年6月。東京。
- 51) 佐々木亮平：2023年度第1回日本体力医学会東北地方会幹事会 幹事。2023年6月。盛岡。
- 52) 佐々木亮平：2023年度一般社団法人全国保健師教育機関協議会 第1回健康危機管理対策委員会(WEB開催) 委員。2023年6月。東京。
- 53) 佐々木亮平：2023年度公益財団法人盛岡市スポーツ協会第1回評議員会 評議員。2023年6月。盛岡。
- 54) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2023年度陸前高田市思春期保健事業 竹駒保育園 講師。2023年6月。陸前高田。
- 55) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2023年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市保育協会 講師。2023年6月。陸前高田。
- 56) 佐々木亮平：2023年度第2回陸前高田市はまかだ運動推進会議(WEB開催) アドバイザー。2023年6月。陸前高田。
- 57) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2023年度陸前高田市思春期保健事業 下矢作保育園 講師。2023年7月。陸前高田。
- 58) *岩室紳也, 佐々木亮平：はまって かだつて つながつて 2023年度陸前高田市思春期保健事業 おやこの広場さりんきっず 講師。2023年7月。陸前高田。
- 59) 佐々木亮平：2023年度第1回公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会 副委員長。2023年7月。盛岡。
- 60) 佐々木亮平：2023年度第3回陸前高田市はまかだ運動推進会議(WEB開催) アドバイザー。2023年7月。陸前高田。
- 61) 佐々木亮平：2023年度第2回岩手県健康増進計画推進協議会 委員。2023年7月。盛岡。
- 62) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究」2023年度第1回班会議(WEB開催) 研究協力者。2023年8月。新潟。
- 63) *戸羽太, 佐々木亮平, *岩室紳也：第30回AIDS文化フォーラムin横浜「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」発表者。2023年8月。横浜。
- 64) 佐々木亮平：2023年度一般社団法人全国保健師教育機関協議会 第2回健康危機管理対策委員会(WEB開催) 委員。2023年8月。東京。
- 65) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2023年度陸前高田市思春期保健事業 学童保育協会 講師。2023年8月。陸前高田。
- 66) 佐々木亮平：2023年度第4回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー。2023年8月。

陸前高田.

- 67) 佐々木亮平：2023年度陸前高田市保健推進員運動研修会 講師. 2023年 8 月. 陸前高田.
- 68) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2023年度陸前高田市思春期保健事業 小友保育園 講師. 2023年 8 月. 陸前高田.
- 69) 佐々木亮平, *岩室紳也：2023年度陸前高田市家庭教育学級 陸前高田市立米崎小学校 講師. 2023年 8 月. 陸前高田.
- 70) 佐々木亮平：2023年度一般財団法人日本地域看護学会 第 1 回災害支援のあり方検討委員会 (WEB開催) 委員. 2023年 9 月. 東京.
- 71) 佐々木亮平：2023年度第 5 回陸前高田市はまかだ運動推進会議 アドバイザー. 2023年 9 月. 陸前高田.
- 72) 佐々木亮平, *岩室紳也：はまって かだつて つながつて 2023年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田東中学校 2 年生「思春期はまかだ教室」講師. 2023年 9 月. 陸前高田.
- 73) 佐々木亮平：2023年度公益財団法人盛岡市スポーツ協会第 2 回評議員会 (書面会議) 評議員. 2023年 9 月. 盛岡.
- 74) 佐々木亮平：2023年度県南広域振興局新任期待保健師研修会 講師. 2023年 9 月. 奥州.
- 75) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究」2023年度第 2 回班会議 (WEB開催) 研究協力者. 2023年 9 月. 新潟.
- 76) 佐々木亮平：2023年度第 8 回岩手県循環器病対策推進協議会 (WEB開催) 委員. 2023年 9 月. 盛岡.
- 77) 佐々木亮平：特定非営利活動法人福祉フォーラム・東北 理事 (2011年～2023年 6 月)
- 78) 佐々木亮平：陸前高田市はまかだ運動推進アドバイザー (2018年～)
- 79) 佐々木亮平：社会福祉法人大空会 評議員 (2017年 2 月～2024年 3 月)
- 80) 佐々木亮平：秋田市上北手地区民生委員推薦準備委員会 委員 (2022年 7 月～2025年 6 月)
- 81) 佐々木亮平：特定非営利活動法人日本健康運動指導士会岩手県支部 支部長 (2023年 4 月～2025年 3 月)
- 82) 佐々木亮平：特定非営利活動法人日本健康運動指導士会 北海道・東北ブロック幹事 (2023年 4 月～2025年 3 月)
- 83) 佐々木亮平：公益財団法人盛岡市スポーツ協会 評議員 (2020年 6 月～2024年 6 月)
- 84) 佐々木亮平：岩手県健康いわて21プラン推進協議会 委員 (2022年 7 月～2023年 3 月)
- 85) 佐々木亮平：岩手県健康増進計画推進協議会 委員 (2023年 4 月～2025年 3 月)
- 86) 佐々木亮平：岩手県脳卒中予防県民会議 幹事 (2023年 4 月～2025年 3 月)
- 87) 佐々木亮平：日本体力医学会東北地方会 幹事 (2022年 8 月～2024年 7 月)
- 88) 佐々木亮平：岩手県自殺対策推進協議会 委員 (2023年 4 月～2024年 7 月)
- 89) 佐々木亮平：岩手県循環器病対策推進協議会 構成員 (2022年11月～2024年10月)
- 90) 佐々木亮平：特定非営利活動法人きらりんきつず 正会員 (2023年 4 月～2024年 3 月)
- 91) 佐々木亮平：公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会 副委員長 (2023年 4 月～2025年 3 月)
- 92) 佐々木亮平：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業プロジェクトチーム 委員 (2023年 4 月～2024年 3 月)
- 93) 佐々木亮平：いわて思春期研究会調査研究委員会 委員 (2023年 8 月～2024年 7 月)

- 94) 佐々木亮平：岩手公衆衛生学会 理事（2022年4月～2024年3月）
- 95) 佐々木亮平：社会福祉法人大空会評議員会 評議員（2023年6月～2027年5月）
- 96) 佐々木亮平：一般社団法人全国保健師教育機関協議会 健康危機管理対策委員会 委員（2023年6月～2025年6月）
- 97) 佐々木亮平：一般財団法人日本地域看護学会 災害支援のあり方検討委員会 委員（2023年7月～2025年6月）
- 98) 佐々木亮平：一般社団法人日本公衆衛生学会 認定専門家（2023年4月～2029年3月）

英語科

[学術論文（英文・原著）]

- 2) Hobbs, J.: An English teacher's perspective on English questions in the Japanese National Medical Licensing Examination. Annual Report of Iwate Medical University Center for Liberal Arts and Sciences, 57 : 47-55. (2022)
- 3) Levine-Ogura, J.: Students' perceptions of utilizing Flipgrid in a communicative English class. Annual Report of Iwate Medical University Center for Liberal Arts and Sciences, 57 : 57-64. (2022)

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) Matsuda, T.: A non-movement approach to Japanese sluicing. The 166th Meeting of the Linguistic Society of Japan. June. 2023. Tokyo, Japan.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 2020～2023年度 文部科学省：科研費 基盤研究(C)
研究題目「医療系学生のためのG. グリーン文学の応用研究」
代表者：柳谷千枝子
- 2) ジェイムズ・ホブズ：令和4年度第2回「教育の国際化」に至る講話「イギリス50分の旅—日本在住30年のイギリス人がガイドする」講師. 江南義塾高等学校. 2021年11月.
- 3) ジェイムズ・ホブズ：令和5年度第1回「教育の国際化」に至る講話「イギリス人から見た日本」講師. 江南義塾高等学校. 2023年7月.
- 4) ジェイムズ・ホブズ：日本医学英語教育学会 評議員
- 5) ジェイムズ・ホブズ：全国看護英語教育学会 評議員
- 6) ジェイムズ・ホブズ：Journal of Medical English Education 編集委員
- 7) ジェイムズ・ホブズ：The Language Teacher 査読者
- 8) ジェイムズ・ホブズ：Nursing English Nexus 査読者
- 9) ジョナサン・レヴィン小倉：2022年度 教養教育センター・研究業績発表会. 岩手医科大学. 2023年3月. 矢巾.
- 10) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 副会長
- 11) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語学会学術集会 総括委員長
- 12) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 月刊Newsletter編集長
- 13) ジョナサン・レヴィン小倉：Nursing English Nexus 査読者

情報科学科数学分野

[学術論文 (和文・その他)]

- 1) 江尻正一, *大場宏明, *佐々木敏彦: $\cos a$ 法による測定応力値の区間推定. 非破壊検査, 72: 4-8. (2023)

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) Ejiri, S., *Ohba, H. and *Sasaki, T.: A Unified Representation for Fundamental Equations of Various X-ray Stress Measurement methods. THERMEC 2023. Jul. 2023. Viena, Austria.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) *佐々木敏彦, 江尻正一: 表面粗さ・回折環の一部欠落・深さ方向の応力勾配・ η 角一定近似による $\cos a$ 法への影響. 日本非破壊検査協会2022年度秋季講演大会. 2022年10月. 東京.
- 2) 江尻正一, *大場宏明, *佐々木敏彦: $\cos a$ 法を用いたひずみ分布解析. 日本非破壊検査協会2022年度秋季講演大会. 2022年10月. 東京.
- 3) 江尻正一, *大場宏明, *佐々木敏彦: $\cos a$ 法による結晶方位分布研究. 2023年度非破壊検査総合シンポジウム. 2023年6月. 東京.
- 4) *佐々木敏彦, 江尻正一: 表面粗さ・回折環の一部欠落・深さ方向の応力勾配・ η 角一定近似による $\cos a$ 法への影響(2). 2023年度非破壊検査総合シンポジウム. 2023年6月. 東京.

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 2021~2026年度 文部科学省: 科研費 基盤研究(B)
研究題目「高精度二次元計測デバイリングによるレールの転動接触疲労の予兆解明」
代表者: *佐々木敏彦 研究分担者: 江尻正一
- 2) 江尻正一: 日本材料学会 X線材料強度部門委員会 委員
- 3) 江尻正一: 日本非破壊検査協会 $\cos a$ 法方式のX線残留応力法研究会 主査 (2022年4月~2024年3月)
- 4) 江尻正一: 日本非破壊検査協会 学術委員会 委員 (2022年4月~2024年3月)
- 5) 江尻正一: 日本非破壊検査協会 秋季講演大会組織委員会 委員 (2022年4月~2024年3月)
- 6) 江尻正一: 日本非破壊検査協会 NDIS 4404 $\cos a$ 法によるX線応力測定法通則(仮)原案作成委員会 幹事 (2022年7月~2024年3月)
- 7) 2021~2023年度 文部科学省: 科研費 基盤研究(C)
研究課題「特異点を持つ輪郭線および特異点を持つ曲面の輪郭線の幾何学」
研究代表者: 長谷川大

情報科学科医用工学分野

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Shoji, T., Takatori, E., Nagasawa, T., Kagabu, M., Baba, T., *Shigeto, T., *Matsumura, Y., *Shimizu, D., *Terada, Y., *Seino, M., *Ohta, T., *Nagase, S., *Shigeta, S., *Tokunaga, H., *Shimada, M., *Kaiho, M., *Furukawa, S., *Soeda, S., *Watanabe, T., Takahashi, F., *Yokoyama, Y.: Comparison of treatment outcome between first-line chemotherapy with or without

- bevacizumab for advanced ovarian, fallopian tube, and primary peritoneal cancer (Tohoku gynecologic cancer unit: TGCU-RS001 study). *International Journal of Clinical Oncology*, doi: 10.1007/s10147-022-02246-1. (2022)
- 2) Shigeeda, W., Deguchi, H., Tomoyasu, M., Kaneko, Y., Yoshimura, R., Iwai, H., Kanno, H., *Kudo, S., Takahashi, F., Saito, H.: Optimal period of smoking cessation to reduce incidence of postoperative pulmonary complications for pulmonary resection in primary lung cancer: a propensity score-matched analysis. *Interdisciplinary Cardiovascular and Thoracic Surgery* 36. doi: 10.1093/icvts/ivad094. (2023)
 - 3) *Onuki, M., Takahashi, F., *Iwata, T., *Yamaguchi, S., *Yahata, H., *Kanao, H., *Horie, K., *Kato, H., *Okadome, M., *Takehara, K., *Kamiura, S., *Tsuda, N., *Fujiwara, H., *Shimada, M., *Matsumura, N., *Yoshida, H., *Motohara, T., *Watari, H., *Nakamura, K., *Hamanishi, J., *Satoh, Y., *Ishikawa, M., *Hirashima, Y., *Kudaka, W., *Mori, M., *Kukimoto, I., *Fujii, T., *Watanabe, Y., *Noda, K., *Yoshikawa, N., *Yaegashi, N., *Matsumoto, K.: HPV vaccination impact on invasive cervical cancer in Japan: preliminary results from cancer statistics and the MINT study. *Cancer Science*, doi: 10.1111/cas.15943. (2023)
 - 4) *Yoshino, K., *Kurita, T., Takahashi, F., *Nagase, S., Board members of the 2022 committee on Gynecologic Oncology of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual Report of the Committee on Gynecologic Oncology, the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual Patient Report for 2020 and Annual Treatment Report for 2015. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*, doi: 10.1111/jog.15767. (2023)
 - 5) *Mimura, K., *Ogata, T., *Yoshimoto, Y., *Yoshida, D., *Nakajima, S., *Sato, H., *Machida, N., *Yamada, T., *Watanabe, Y., *Tamaki, T., *Fujikawa, H., *Inokuchi, Y., *Hayase, S., *Hanayama, H., *Saze, Z., *Kato, H., Takahashi, F., *Oshima, T., *Suzuk, Y., *Kono, K.: Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer. *Communications Medicine*, doi: 10.1038/s43856-023-00343-4. (2023)
 - 6) Cho, K., Nagashima, H., Saikawa, H., Fujimura, I., Takahashi, F., Maemondo, M.: A randomized trial to evaluate the preventive effect of lafutidine on chemotherapy-induced peripheral neuropathy in patients treated with paclitaxel for lung cancer. *Annals of Palliative Medicine*, doi: 10.21037/apm-23-90. (2023)
 - 7) Tsubota-Utsugi, M., Tanno, K., Takahashi, N., *Onoda, T., *Yonekura, Y., Osawa, M., Takahashi, S., Kuribayashi, T., Itabashi, R., Tanaka, F., Asahi, K., Omama, S., Ogasawara, K., Ishigaki, Y., Takahashi, F., *Soma, A., Takanashi, N., Sakata, K., Ohkubo, T., *Okayama, A.: Rapid weight change as a predictor of disability among community-dwelling Japanese older adults. *Geriatrics & Gerontology International*, doi: 10.1111/ggi.14687. (2023)
 - 8) Ariyoshi, Y., *Otsuka, K., Yaegashi, M., Takashimizu, K., Hatanaka, T., Nakamura, Y., Sasaki, T., Takahashi, F., Sasaki, A.: A novel difficulty scoring system for laparoscopic colorectal cancer surgery for appropriate case selection according to mastery. *Journal of Iwate Medical Association*, 75(3) : 81-94. (2023)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 小野保, 菖蒲澤幸子: 能動的学習を導入した看護基礎教育における情報セキュリティおよび情

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) *Fukuhara, T., Nagashima, H., *Utsumi, Y., *Suzuki, A., *Seike, M., *Miyanaga, A., *Azuma, K., *Kisohara, A., *Kawashima, Y., *Asahina, H., *Tanaka, H., *Kanemaru, R., *Miyachi, E., *Furuya, N., *Sato, H., *Sakai, K., *Nishio, K., Takahashi, F., *Kobayashi, K., Maemondo, M.: A phase II study of afatinib in combination with pemetrexed and carboplatin in patients with EGFR mutation positive non-squamous, advanced non-small cell lung cancer (NSCLC) refractory to first-line osimertinib treatment: NEJ025B. ASCO. June 2023. Chicago, USA.

[国内学会発表 (招待講演等)]

- 1) 佐藤ひとみ, 小野保, 生土博之, 山口真依: 新卒看護師に身につけておいて欲しい看護情報学に関する知識と態度. 第24回日本医療情報学会看護学術大会 ワークショップ3. 2023年7月. 神戸.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 大澤正樹, 小笠原邦昭, 丹野高三, 高梨信之, *米倉佑貴, *坪田恵, 大間々真一, 高橋宗康, *小野田敏行, *栗林徹, 旭浩一, 田中文隆, 石垣泰, 高橋史朗, 板橋亮, 森野禎浩, 伊藤智範, *腰山誠, *岡山明: 久山リスクスコア・吹田リスクスコアの循環器疾患罹患死亡の絶対リスク評価と予後予測能力検証. 日本循環器病予防学会. 2023年6月. 鹿児島.
- 2) 小野保, 菖蒲澤幸子: 看護基礎教育における情報セキュリティ・情報倫理教育の教育内容の現状. 第42回医療情報学連合大会. 2022年11月. 札幌.

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 2020~2024年度 日本医療研究開発機構: 医療研究開発革新基盤創成事業
研究課題「月経前症候群 (PMS) に伴う精神症状/月経前不快気分障害 (PMDD) を対象としたピロドキサミンの有効性及び安全性を検討する第Ⅱ相医師主導治験」
研究代表者: 武田卓 研究分担者: 高橋史朗
- 2) 2020~2022年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究(C)
研究課題「介護予防事業の評価における活動量計の活用」
研究代表者: 下沖収 研究分担者: 高橋史朗
- 3) 2020~2022年度 厚生労働省: 科研費 長寿科学政策研究事業
研究課題「介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーション適応等についての研究」
研究代表者: 西村行秀 研究分担者: 高橋史朗
- 4) 2021~2022年度 日本医療研究開発機構: 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
研究課題: 「新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 肺炎患者に対するPAI-1阻害薬TM5614の有効性及び安全性を検討する検証の第Ⅱ相医師主導治験」
研究代表者: 張替秀郎 研究分担者: 高橋史朗
- 5) 2022~2025年度 日本医療研究開発機構: 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進

研究事業

研究課題：「思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究」

研究代表者：松本光司 研究分担者：高橋史朗

- 6) 2023～2026年度 日本医療研究開発機構：革新的がん医療実用化研究事業

研究課題「個別化デジタルPCRによる超高感度腫瘍由来循環DNAモニタリング」

研究代表者：西塚哲 研究分担者：高橋史朗

- 7) 2021～2023年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究(C)

研究課題「看護基礎教育における情報セキュリティおよび情報倫理に関する教育方法の構築」

研究代表者：小野保

- 8) 高橋史朗：岩手医学会 査読委員

- 9) 高橋史朗：日本癌治療学会「GIST診療ガイドライン改訂WG」委員

- 10) 高橋史朗：東北大学病院「病院臨床研究倫理委員会」委員

- 11) 高橋史朗：東北大学「認定臨床研究審査委員会」委員

- 12) 高橋史朗：日本がん臨床試験推進機構「プロトコール評価委員会」委員

- 13) 高橋史朗：東北臨床研究審査機構「共同臨床研究審査委員会」委員

- 14) 高橋史朗：日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍委員会 データ小委員会 委員

- 15) 高橋史朗：婦人科腫瘍学会 代議員・査読委員

- 16) 高橋史朗：日本消化器内視鏡学会 査読委員

- 17) 小野保：看護人間工学会 理事，評議員，総務委員長（2023年4月～2025年3月）

- 18) 小野保：TOPIC盛岡NOC 幹事

物理学科

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Oda, Y., Sato, E., Yoshida, S., Yoshioka, K., Enomoto, T., Watanabe, M. and Nitta, H.: Embossed X-ray computed tomography using a 50- μ m-pixel flat panel detector. Annual Report of Iwate Medical University Center for Liberal Arts and Sciences, 57 : 19-26. (2022)

[学術論文（和文・その他）]

- 2) 小松真：二次元電界計算を用いた染色液脱色用の水中放電電極の設計，岩手医科大学教養教育研究年報，57：1-8. (2022)
- 3) 小松真：WebClassの利用状況から見た本学学生の物理学への取り組み，岩手医科大学教養教育研究年報，57：9-18. (2022)

[国際学会発表（一般講演）]

- 1) Ken-ichi Okumura: Toward natural multi-TeV supersymmetry in quiver supersymmetric standard model. The 25th International Conference from the Planck Scale to the Electroweak Scale, 22-26 May 2023, Warsaw, Poland.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 小松真：放電による染色液の脱色に微量の塩酸が与える影響，令和5年電気学会全国大会，2023年3月，名古屋。

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 小田泰行：芸術科学会 東北支部 評議員（2011年10月～）
- 2) 奥村健一：日本物理学会Jrセッション審査委員（2019年3月～）
- 3) 2021～2023年度 文部科学省：科研費 基盤研究(C)
研究題目「ポストLHC時代に向けた超対称性理論の研究」
代表者：奥村健一

化学科

[学術論文（英文・原著）]

- 1) *Sofian, F. F., *Suzuki, T., *Supratman, U., *Harneti, D., *Maharani, R., *Salam, S., *Abdullah, F. F., Yoshida, J., *Ito, Y., *Koseki, T., *Shiono, Y.: The 2,3-epoxy naphthoquinol produced by endophyte *Arthrinium marii* M-211. *Natural Product Research*, 37(7) : 1060–1066. (2023)
- 2) *Sofian F. F., *Kurniawati N., Yoshida J., *Ito Y., *Tchoukoua A., *Turibio K. T., *Lannang M. A., *Ngadjui T. B., *Koseki T., *Shiono Y.: New fatty acid ester and meroterpenoid produced by the endophytic fungus *Penicillium* sp. NR-1. *Phytochemistry Letters*, 56 : 5–12. (2023)

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 2019～2023年度（延長） 文部科学省：科研費 基盤研究(C)
研究題目「マスト細胞の脱顆粒応答は分泌刺激の種類で変化するか？—イメージングによる解析—」
代表者：東尾浩典 研究分担者：横山拓矢，齋野朝幸
- 2) 2021～2023年度 文部科学省：科研費 基盤研究(C)
研究題目「食材ポリアセチレン化合物による肝細胞エネルギー代謝制御機構の統合的解析」
代表者：吉田潤 研究分担者：木村賢一，伊藤芳明
- 3) 2022～2024年度 文部科学省：科研費 基盤研究(C)
研究題目「睡眠時無呼吸症候群モデルラット頸動脈小体のグルタミン酸受容体による長期増強機構」
代表者：横山拓矢 研究分担者：東尾浩典，齋野朝幸
- 4) 2022～2024年度 文部科学省：科研費 基盤研究(C)
研究題目「神経関連微量アミンは外分泌細胞の機能を制御するか—神経・外分泌連関の解明」
代表者：齋野朝幸 研究分担者：東尾浩典，横山拓矢
- 5) 2023年度 公益財団法人さんりく基金 令和5年度調査研究事業
研究題目「久慈産琥珀抽出物の化粧品開発の成功を踏まえた機能性表示食品利用への挑戦」
代表者：木村賢一 研究分担者：吉田潤
- 6) 木村賢一，吉田潤：グルコース産生抑制剤. 特願2022-149634. 出願人：国立大学法人岩手大学，学校法人岩手医科大学

生物学科

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) *Tosuji, H., *Park, T. S., *Goryo, Y., Kan, K., *Abe, H. and *Sato, M.: Molecular method to identify the morphologically similar four species of the *Perinereis nuntia* species complex (Annelida: Nereididae) based on PCR-RFLP analysis of nuclear ribosomal ITS, with new distributional records of the two forms of *Perinereis shikueii*. *Plankton and Benthos Research*, 18 : 124-130. (2023)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 菅孔太郎, *阿部博和, 佐々木あゆ, 伊藤えみ: 岩手県と宮城県から採集された *Cyclops kikuchii* Smirnov, 1932と *C. vicinus* Uljanin, 1875 (カイアシ綱, キクロプス目, キクロプス科) の形態的差異. *岩手医科大学教養教育研究年報*, 57 : 37-46. (2022)
- 2) 松政正俊, 三枝 聖, 内藤雪枝, 菅孔太郎: 医・歯・薬学部共通の生物系科目におけるオンライン試験の導入と課題. *岩手医科大学教養教育研究年報*, 57 : 27-36. (2022)
- 3) 松政正俊, *阿部博和, *小林元樹, *鈴木孝男: 岩手県沿岸におけるヤマトオサガニ個体群の初記録. *日本ベントス学会誌*, 77 : 54-59. (2022)
- 4) *金谷弦, *鈴木孝男, *多留聖典, 松政正俊, *青木美鈴, *井上隆: 東日本大震災後の広域調査データから明らかにする東日本太平洋岸における干潟ベントス群集の特徴と時空間変動. *日本ベントス学会誌*, 77 : 40-53. (2022)

[学術論文 (和文・その他)]

- 1) 三枝 聖: 法昆虫学者という職業. *昆虫と自然*, 57 : 31-33. (2022)
- 2) 菅孔太郎, *鈴木孝男, *金谷弦, *阿部博和: 芦崎の自然調査概要 (31・32年次中間報告) 10. 芦崎干潟の底生動物. *むつ市文化財調査報告*, 52 : 86-92. (2023)
- 3) *金谷弦, 菅孔太郎, *阿部博和, *鈴木孝男, *伊藤萌, *中井静子, *三浦収: 芦崎の自然調査概要 (31・32年次中間報告) 9. 芦崎干潟に生息する巻き貝ホソウミニナにおける二生吸虫 (扁形動物門吸虫綱) の寄生状況. *むつ市文化財調査報告*, 52 : 80-85. (2023)
- 4) *阿部博和, 菅孔太郎, *小林元樹: 屋久島の多毛類の多様性. *屋久島通信*, 82 : 4-5. (2022)

[著書]

- 1) 松政正俊: 海洋生態系管理の必要性と具体化に向けて. 平泉信之, 小松正之 (編著)「海洋生態系再生への提言」, 雄山閣, 東京, pp. 57-60. (2023)

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) *Abe, H., Kan, K., *Kobayashi, G. and *Jimi, N: First discovery of the epitokous metamorphosis in Spionidae. 14th International Polychaete Conference. Jul. 2023. Cape Town, South Africa.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 三枝 聖, *高宮正隆, *藤田さちこ, *青木康博: 法昆虫学的解析における画像情報の有用性. 第107次日本法医学会学術全国集会. 2023年6月9日. 小田原
- 2) *小林元樹, 菅孔太郎, *田中正敦, *自見直人, *阿部博和: DNAリファレンスデータベース構

築から見えてきた干潟の環形動物の多様性. 2023年日本ベントス学会・日本プランクトン学会
合同大会. 2023年9月. 函館.

- 3) *小林真緒, *近藤偉央, *小林元樹, 菅孔太郎, *阿部博和: 東北地方における*Heteromastus*属
多毛類(イトゴカイ科)のDNA解析による分類学的検討. 2023年日本ベントス学会・日本プ
ランクトン学会合同大会. 2023年9月. 函館.
- 4) *阿部博和, 菅孔太郎, *小林元樹, *自見直人: スピオ科多毛類における生殖群泳と生殖変態の
発見. 2023年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2023年9月. 函館.

[その他(教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 2019-2023年度(延長) 日本学術振興会: 科研費 基盤研究(C)
研究課題「ライバル雄の妨害がドライブするシオマネキ類の配偶者選択におけるシグナル系の
複雑化」
研究代表者: 竹下文雄 研究分担者: 松政正俊
- 2) 2021-2023年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究(C)
研究課題「寒暖境界期および寒冷期の死後経過時間推定精度向上に資する法昆虫学的指標の探
索」
研究代表者: 三枝 聖
- 3) 2022-2025年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究(C)
研究課題「東北の大地震・大津波の後に希少種が増えたのはなぜか?: 半陸棲カニ類における
解析」
研究代表者: 松政正俊
- 4) 松政正俊, 菅孔太郎: 農林水産技術会議 脱炭素・環境対応プロジェクト: 農林水産分野にお
ける炭素吸収源対策技術の開発「ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の
開発」に参画. [2020(令和2)年1月-2024(令和6)年]
- 5) 菅孔太郎: 屋久島大学/短期集中講座6「屋久島の海の命を支える生きものたち 水辺に広がる
ゴカイの多様な世界」講師(2023年2月)
- 6) 菅孔太郎: 岩手県いわてレッドデータブック改訂事業 調査協力者(2021年3月24日-2024年
3月31日)
- 7) 松政正俊. 広田湾における水辺利用の見通し: カキ養殖, ブルーカーボンと生物多様性, 水辺
管理をどうつなげるか. 鹿島平和研究所研究会「食, 生態系と土地利用研究会」話題提供(2023
年1月)
- 8) 松政正俊. 干潟のカニ類の「北進」- 続く県内初記録. 岩手生態学ネットワーク第22回市民講
座「変わりゆく北東北の環境と生き物たち」話題提供(2023年2月)
- 9) 松政正俊. 岩手県・広田湾における環境配慮事例: Nature-based Solution (NbS) に向けて.
日本ベントス学会自然環境保全委員会主催シンポジウム「東日本大, 震災から12年, ベントス
研究からみえてきた沿岸生態系の現状・課題と将来に向けて」仙台(2023年3月)
- 10) Matsumasa, M. Macrobenthic animals living on tidal flats in Sanriku Coast, northern Japan,
with tsunamis in many times, and Nature-based Solutions. Japan-US meeting for NbS,
Smithsonian Environmental Research Center, Edgewater, USA (May 2023)
- 11) 松政正俊, 菅孔太郎: 令和5年度三陸復興国立公園南部地区及び中部地区パークボランティア
合同研修会における講師を担当(講演と観察会を担当). 講演「津波で干潟に戻った小友浦の

- 生物多様性とその価値～三陸海岸の魅力ある自然・生物資源を知るために～(講師:松政)」(2023年6月)
- 12) 松政正俊. 訪米報告:米国の水辺における Nature-based Solutions (NBS) から学んだことー生物・生態学の視点から. 鹿島平和研究所研究会「食, 生態系と土地利用研究会」話題提供(2023年6月)
 - 13) 松政正俊. 広田湾の自然資源・アマモ場や浅瀬の有効活用を目指して. 令和5年度 広田湾漁業共同組合米崎・小友支所 青壮年部との打合せ (ブルーカーボン事業) (2023年7月)
 - 14) 松政正俊. 夏休み自由研究応援「高田松原でカニを探そう!」講師. 岩手県立津波復興記念公園管理事務所 主催 (2023年8月)
 - 15) 松政正俊: 岩手生態学ネットワーク代表 活動プログラム「人と自然と生態学」の運営 (日本生態学会東北地区会から支援). 2022年度.
 - 16) 松政正俊: 広田湾マガキ天然採苗試験 (岩手県水産技術センター・広田湾漁協米崎・小友支所と共同) (2012(平成24)年～)
 - 17) 松政正俊: 岩手県いわてレッドデータブック改定検討委員会専門部会委員 (2020(令和2)年1月～改定の完了まで)
 - 18) 松政正俊: 岩手県立博物館協議会委員 (2019(令和元)年7月～2021(令和3)年6月, 2021(令和3)年7月～2023(令和5)年6月, 2023(令和5)年7月～2025(令和7)年6月)
 - 19) 松政正俊: 岩手県根浜海岸復興養浜技術検討委員会委員 (2017(平成29)年5月～)
 - 20) 松政正俊: (一財)鹿島平和研究所「地球温暖化を克服する食, 生態系, 土地利用研究会」メンバー (2022(令和4)年5月～)
 - 21) 松政正俊: 岩手県 土地利用審査会 委員 (会長) (2022(令和4)年11月～)
 - 22) 松政正俊: 盛岡市 高松公園環境保全評価員会 委員 (座長) (2022(令和4)年11月～)
 - 23) 松政正俊: 日本生態学会東北地区会委員 (2020(令和2)年4月～2022(令和4)年3月, 2022(令和4)年4月～2024(令和6)年3月)
 - 24) 松政正俊: 日本ベントス学会自然環境保全委員会委員 (2023(令和5)年4月～2025(令和7)年3月)
 - 25) 松政正俊: 熊本大学くまもと水循環・減災教育研究センター沿岸環境部門学外協力研究者(2016(平成28)年5月～)
 - 26) 松政正俊: *Plankton and Benthos Research* 編集委員 (2019(令和元)年4月～2021(令和3)年3月, 2021(令和3)年4月～2023(令和5)年3月, 2023(令和5)年4月～2025(令和7)年3月)
 - 27) 松政正俊: *Scientifica* 編集委員 (Marine Biology).